

公表

事業所における自己評価総括表

| | | | |
|----------------|--------------------|-----|---------------|
| ○事業所名 | 放課後等デイサービス らすかるのお家 | | |
| ○保護者評価実施期間 | 令和8年 1月 4日 | | ～ 令和8年 1月 24日 |
| ○保護者評価有効回答数 | (対象者数) | 10名 | (回答者数) 10件 |
| ○従業者評価実施期間 | 令和8年 1月 4日 | | ～ 令和8年 1月 24日 |
| ○従業者評価有効回答数 | (対象者数) | 5名 | (回答者数) 5件 |
| ○事業者向け自己評価表作成日 | 令和8年 1月 27日 | | |

○ 分析結果

| | 事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること | 工夫していることや意識的に行っている取組等 | さらに充実を図るための取組等 |
|---|--|--|--|
| 1 | 職員会議があることで職員の意見や児童の様子・把握する場がわかり、改善に繋げることができる。 イベントや行事がある時には本社である生活介護と共同で行うことで他者との関わりを深める機会が充実している。 | 小学1年生から高校生までいるのでそれぞれの年齢や、個別に配慮した関わりをするように心がけている。 | 職員配置やサポート体制を整える。 |
| 2 | 部屋数が多いので、遊びの部屋・勉強をする部屋と分けることができ、それが子どもたちの集中力を高めていくことにもなっている。 広い庭があるので、子ども達が外に出て遊びたい時にいつでも出られる環境がある。 | 職員同士で声を出し合っているので活気がある。 | 研修等で職員一人一人がより深い知識を身につけ子どもたちに支援をしていく。 |
| 3 | 職員同士の「ほうれんそう」がある。 戸外に出掛ける事やクッキングをすることもあり活動の幅が広い。 | 成功体験を増やしていけるような日々の活動や関わりができていく。 | 防災や火災訓練を実施し、職員・子どもそれぞれに防災知識や防災意識を持ち、より安全に通える環境を作る。 |

| | 事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること | 事業所として考えている課題の要因等 | 改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等 |
|---|--|---|---|
| 1 | 送迎時や、連絡でのやり取りで日々の子どもの様子は共有できているが、保護者が事業所に来て子どもたちをまじかに見る機会が少ない。 | 業所での様子や、他利用者との関わり方などを見て共有することで、次のサポートにも繋がる。 | 保護者が子どもの様子を見て安心して頂けるような、参観のような機会を取り入れる。 |
| 2 | 事業所の行事に地域市民を招待するなど、地域に開かれた運営ができていない。 | 事業所の体制をもっとより良く改善する事ができ、その後に地域市民と関わりが持っていく。 | 利用者と地域市民が関わっていけるように、大きいイベントなどを導入を検討する。 |
| 3 | | | |